

実践研究は何をめざすか

－日本語教育における実践研究 の意味と可能性

細川英雄
早稲田大学名誉教員
<http://www.gbki.org/>



実践研究という概念のはじまり

■2001年 『実践研究の手引き』

- 奥田純子(2011)「日本語学校における実践研究」—『実践研究の手引き』刊行をめぐって—(WEB版「日本語教育実践研究フォーラム報告」)

■2001年早稲田日本語教育研究科科目設置

- 細川英雄・三代純平(2013)『実践研究は何をめざすか—日本語教育における実践研究の可能性と課題』ココ出版

■2004年の実践研究フォーラムの開催

- 細川英雄(2012)『研究活動デザイナー—出会いと対話は何を変えるか』ココ出版

なぜ実践研究は始まったのか

- 社会変革としてのAction reseach から
教育方法技術としてのアクション・リサーチへ
- 教育現場重視—「実践は、既存の理論
の応用ではない」—「教育は実践であり、
研究は必要ない」という立場との関係
- 言語の教育を人間の活動としてとらえよ
うとするムーブメント

人間の活動としてのことばの教育

- 90年代後半から今世紀にかけての実践活動への関心—実践こそ教育
- 言語の構造や形式とその運用への着目から、人間の活動としての関心へ
- ことばの教育とは、人間の活動全体を対象とする

実践と研究は異なるのか

- 実践と教育はどのようにして結ばれるのか
- ことばの学び手はすべて日本学研究者になるわけではない。
- しかし、日本語を使って何らかの分野で活動することをめざす個人である。
- そして、すべての市民は、ことばの活動者（行為主体）でなければならない。

ことばは「教えられるのか」という問いへ

- ことばの活動とは何か—人間の身体からの感覚、心を支える感情、そして論理の思考を形成するものとしての、ホリスティックな活動体としてのことば
- ことばの活動は一人一人すべて異なる—このように教えたら、こうなる、というような図式は成立しない
- 「優れた」教材をつくれれば、「優れた」結果が一様に出せるという幻想をどう乗り越えるか

教育実践とは何か

- 教育実践とは、「言語を正解として教えること」ではなく、「学び手それぞれがことばによって活動する場をつくること」。
- 言語の構造・形式を知らなければ、ことばの活動はできないのでは？—否、かたち(構造と形式)は必要に応じて、後からついてくる【参考文献参照】
- 実践は、「なかみ」(中身)・「かたち」(容れ物)・「ば」(場)の三位一体によって形成される。

言語習得と活動の関係 —これまでの捉え方—

それぞれの

ことばの活動分野へ

政治・経済・歴史・社会・
文学・言語・教育…

言語習得

ことばの活動の場の捉え方

—活動の場をつくることが教育—



ことばの教育の実践とは何か

- 自分は学習／教育において何をするのかと考えること、これが実践であり同時に研究のはじまり—【テーマ】との関係
- 実践＝研究という思想の場の形成
- 実践と研究は一体化し、実践研究（実践＝研究）として統合

- 細川英雄（2012）『研究活動デザイナー—出会いと対話は何を変えるか』ココ出版

実践研究の成果

- 塩谷 奈緒子(2008)『教室文化と日本語教育』明石書店
- 市嶋 典子(2014)『日本語教育における評価と「実践研究」--対話的アセスメント:価値の衝突と共有のプロセス』(ココ出版)
- 細川英雄・三代純平編(2014)『実践研究は何をめざすか—日本語教育における実践研究の意味と可能性』ココ出版
- 寅丸真澄(2017)『学習者の自己形成・自己実現を支援する日本語教育』ココ出版(3月予定)
- 李曉燕(2017)『「多文化グループワーク」による言語と文化の創造学習—知識科学の視点から見るアクティブラーニング』ココ出版(5月予定)

日本語教育の未来へ

- 言語の正解を教える教育実践のあり方そのものをもう一度問い直すー実践こそ日本語教育の原点という思想
- これまでの「実践」の概念をも解体させる「ことばの実践活動とは何か」という、より大きな問いへ
- 自己・他者・社会をつなぐ対話ー生活や人生のあらゆる出来事と私の関わりに【テーマ】を見出し、それを「実践」と捉えることへ

【参考文献】ゼロビギナー関係

- 金龍男, 武一美, 古屋憲章(2010)「人と人の間にことばが生まれるとき—教師自身による実践研究の意義」『早稲田日本語教育学』7, 25-42. <http://hdl.handle.net/2065/29805>
- 森元桂子・金龍男・武一美・坂田麗子(2009)「学習者が主体的に参加するとき—総合活動型日本語教育の初級クラスの実践から—」『言語文化教育研究』8-2,100-123.
<http://alce.jp/journal/dat/gbkkv08n02morimoto.pdf>
- 崔允釋・張珍華(2004)「ゼロビギナーへの試み」『考えるための日本語』192—216 細川英雄・NPO法人「言語文化教育研究所」スタッフ, 明石書店
- 細川英雄・武一美(2013)『初級からはじまる「活動型クラス」—ことばの学びは学習者がつくる』スリーエーネットワーク